



1歳11カ月になりました。

Shingo Amamiya Narita City Report WAVE!

2010.07
Vol. 13

成田市議会議員
雨宮しんご

活動日記を毎日更新!! 雨宮しんご 検索 31歳

成田市賦課徴収条例の一部を改正するについて 雨宮しんごの質疑要約 (議案第4号)

23年1月1日より年少扶養控除が廃止、特定扶養控除も圧縮、増税へ。

子ども手当の全額支給が見送られる中にも各種扶養控除の廃止が進み、増税路線に舵が切られています。年少扶養控除が廃止、特定扶養控除が圧縮されることで成田市では幼稚園就園奨励費補助金や保育園保険料など36事業に影響が及ぶことが雨宮の質問で明らかになりました。

また、納税世帯の所得税負担増は、所得額に応じて子供一人当たり1万9000円から15万2000円の負担増に。住民税は一律3万3000円の負担増となり、所得税と住民税を併せると最低でも5万2000円増税の増税となります。(これによる成田市の増収額はおよそ3億4000万円と試算されています)

政府は、マニフェストと違って子ども手当の全額支給を断念する以上、増税箇所の議論見直しを同時に行うべきであると考えます。

10月1日から、たばこ1箱あたり100円程度値上げへ。

国の税制改正に伴い、成田市も過去最大幅となる税率引上げの条例改正を行いました。これにより国内消費が25%、税収も1000億円落ち込むとされています。成田市は成田空港の恩恵もあり毎年10億円以上の税収を維持してきましたが、社会の禁煙化傾向に伴い、一昨年度の約12億円から今年度のたばこ税収は9億4千万円と見込んでいました。

そこに今回の値上げということで、成田市でも新たに2000万円程度減収となる試算がなされたところから、減額補正など迅速な対応を求めました。

ニュータウンスポーツ広場整備事業

スポーツ交流によるコミュニティの育成と健康増進の観点から、1地区1スポーツ広場の整備指針のもと、市内には9か所のスポーツ広場が整備されていますが、現在ニュータウンスポーツ広場(船形台方地先)と公津スポーツ広場の整備が進められています。

そして今回、用地買収が概ね完了したことからニュータウンスポーツ広場は造成工事を進めることになりました。事業面積3.8ha、総事業費は6億9千万円で24年度の供用を目指し整備が進められます。

※公津スポーツ広場についても詳細が明らかになり次第、報告させていただきます。



成田ニュータウンセンタービル解体へ

千葉県企業庁により建設された成田NT赤坂地区のセンタービルが、今年7月～来年3月25日の工期で解体されることになりました。(事業費4億3千万円)

オレンジ用地(赤坂センタービル用地1ha)は、既に成田市が購入の意思表示をしています。跡地利用については緑用地1.9ha(現在の公民館・図書館)との一体的活用を検討しつつ、当面は臨時駐車場として開放するようです。ですが、漫然と土地を遊ばせるのではなく、成田ニュータウンの中心部という土地の優位性からも、残り1ha(青用地)についても市が購入することで土地活用に幅と柔軟さを確保しながら、市民ニーズ・近隣施設の老朽化を踏まえ早期に方向性を見出すべきだと雨宮は考えます。今後も成田ニュータウン、ひいては成田市の将来を見据えたまちづくりの議論を進めていこうと思います。



成田市の給食費滞納額は4800万円超!!

給食費の滞納問題は社会問題にまで発展していますが、成田市でも、20年度決算段階で累積滞納額は4859万7160円に上っています。支払い能力がありながら応じない16世帯に対し佐倉簡易裁判所に支払督促の申立を行い、今後も対象者に順次、法的措置を講じていくことが決定しています。

また、その一方で政府は子ども手当の全額支給を断念、新たな制度設計を行うとしていることから、給食費の滞納分を子ども手当で相殺できるなどの仕組み創設を求めています。



雨宮真吾事務所

事務所：〒286-0018 成田市吾妻3-48-28
tel：0476-27-5918 / fax：0476-27-1051

info@ama-shin.net
www.ama-shin.net

- 1978年10月31日生まれ(31歳)
- 明治大学大学院
- 元進学予備校講師
- 最年少、過去最高得票で平成19年成田市議会議員選挙に初当選
- 都市計画審議会委員
- 日本サーフィン連盟公認インストラクター

雨宮しんご

出前市政報告会を開催しています!

雨宮しんごは、お一人にでも多く市政の現状・問題点をお伝えするため、ご要望に応じて出前市政報告会を開催しています。メールかFAXにてお申込み(2人以上)頂ければ、日程を調節の上、成田市内どこへでも伺います。ざっくばらんな意見交換の場としても活用ください!!

雨宮しんごの一般質問

平成22年6月定例会議では、わたしを含む14人が一般質問に登壇しました。

わたしは次の3点について取り上げました。

1.政策入札の実施について

- ①アウトソーシング基準の策定 ②政策入札の導入
③政策入札基準における新評価システムの採用 ④指名基準に政策的視点を含めること

昨今の世界的経済危機の中、成田市には、市民の雇用問題はもちろんのこと、障害者雇用の問題や、高齢者雇用、更には次世代育成支援など多様な課題が山積しています。

こうした政策の実現を市が単独で行うには困難を極めますが、雇用環境整備の促進や、市民生活の向上、社会形成への一助といった市が抱える政策課題に協力いただける事業者、インセンティブとして価格以外に公共評価点を用いて委託業者を決定する『政策入札』を導入

することにより、新たな予算投資をすることなく、政策実現効果を高めることができ、同時に不当なダンピングや談合を防止することができます。

そこで成田市が今年度、平成22年度一般・特別会計を含めた当初予算801億円の内、委託料が86億5416万7千円と予算の10%強をアウトソーシングすることから、この点に着目し、新たな予算をかけることなく、地域と共生する企業を行政が、そして我々市民も応援をするという協働の仕組みづくりの政策提案を行いました。

「政策入札」

価格のみを絶対視した価格入札ではなく、市が進める政策(市民雇用率、障害者雇用率、次世代育成支援対策推進法に定める一般事業主行動計画が適正etc)に合致している事業者インセンティブとして公共評価点を設け落札基準にする入札制度

2.公契約条例について

- ①公契約条例について ②野田市の要望における成田市の見解 ③市が発注する事業の労働者・雇用形態の状況について
④契約受託者の下請事業者の労働条件の状況について ⑤「地方から国を変える」姿勢について

公契約条例は、委託分野でのダンピング入札や人件費の削減、指定管理者制度の定期雇用置き換えによる官製ワーキングプアなどを解消するために、公契約のもとで働く労働者の賃金、労働条件の最低規制を行うものになります。

厳しい財政状況を背景に、公共サービスの効率化、コストダウンの要請が高まり、公共工事や委託業務など、

契約をめぐる過当競争、そして低価格、低単価の契約受注が増大しています。事業を受託する企業においても、契約実績を優先する余りに、企業みずからの経営悪化と労働者の低賃金、労働条件の著しい低下を招き、公契約における安い落札価格は、労働者の低賃金化や非正規雇用の拡大、解雇など、今日の格差拡大社会を生み出す一つの大きな要因とも言われています。

自治体には福祉、環境、人権等の社会的公正の実現を図る責務があり、同様に、企業は地域市民としてコンプライアンス(法令遵守)とCSR(社会的責任)が求められていることから、公契約における成田市の考え方について質



3.成田空港行政について

- ①国土交通省成長戦略会議の最終報告書に対する見解と対応 ②成田空港成長戦略会議の進捗状況
③今こそ発着枠30万回の容量拡大を成田市として明言すべき！ ④騒音対策における市の姿勢について

5/17に国土交通省による成長戦略会議の最終報告書がまとめられました。

☆羽田空港の内陸ハブ機能を強化するために昼間時間帯のアジア近距離ビジネス路線に限定しているルールを廃止し、アジア長距離路線や欧米路線の高需要ビジネス路線の発着も可能とする。

☆国際線発着枠を昼間6万回、深夜早朝3万回の合計9万回へ増枠する。

昨年10月の羽田ハブ空港化発言から、方針として羽田集中路線が提言されたことになり、国際基幹空港成田

の地位低下が懸念されます。7/17に成田スカイアクセスが開業、10月には羽田のD滑走路共用と注目と集める今、国が予測する更なる航空需要に応えるために発着回数30万回の更なる容量拡大を市の方針として示すことは、羽田集中へと政策転換を図る国への抑止効果になると同時に、今後の成田市の発展には必要不可欠だと私は考えています。

ですが、このほど示された30万回予測騒音コンターが昨今の航空機精度の向上により、回数が増加するにも関わらず従前(23.5万回コンター)よりも範囲が小さく

なったことに不信感を抱いた久住・下総地区空港対策委員会から「30万回容量拡大の白紙撤回を求める」申入書が提出されるなど、未だに成田市として新たな容量拡大への意思表示ができていません。

容量の拡大には騒音下住民の方々には負担を強いることになるため、早期に空港と地域の共生策の検討を迅速に進めると共に、国の航空政策の動向を注視、手遅れにならないようスケジュール感を持って取り組むことを強く求めました。

NAA(成田国際空港株式会社)に対し提案書！

騒音下住民の方々との議論が平行線を辿る中、その打開策として成田市と議会(全議員了承)の連名でNAAに対し、共生策の拡充案を盛り込んだ、成田空港の容量拡大(30万回)実現のための提案書を提出します。(7月中旬予定)合意形成を得るには今後も議論を重ねていくなど継続的な努力が必要となりますが、着実に容量拡大に向け歩を進めています。

小泉市長が2期目続投を宣言

小泉市長が「2期目の市政を担当させていただきたい。」と本会議で発言、続投宣言をしました。一方で投票率は1999年が65.95%。2003年が60.94%。前回2007年が50.48%と低投票率の傾向にあります。次期成田市長選挙は、今年の12月下旬に予定されています。

みなさまのご意見をお寄せください！

Q1 雨宮しんごに期待することは何ですか？

Q2 一般質問で取り上げてほしい項目はなんですか？○をお付けください。

- 高齢者福祉 ●景気、雇用問題 ●空港問題 ●防犯、防災対策
●医療問題 ●子育て支援や教育の充実 ●環境問題 ●その他()

Q3 成田市政へのご意見や雨宮しんごへのご要望をお書きください

ご記入頂いた個人情報は、ご依頼を受けたご要望等の対応に利用させていただきます。

フリガナ
お名前

住所 〒

電話番号

FAX:0476-27-1051

キリトリ